

JOMF 派遣医師便り (2018. 9)

◆マニラ◆

抗生剤を薬局が売ってくれないんです

——>それはとても良い薬剤師です

マニラ日本人会診療所

菊地 宏久

患者さんから、抗生剤の売買に関する不満が最近多くなっています。例えば、「これまでは処方箋が無くても薬局で抗生剤を売ってくれたのに、“医師からの処方箋が無いとダメ”と言われた」、「数カ月前に処方された抗生剤の処方箋を繰り返して使おうとしたら、“日付が長期経過しているのでダメ”と言われた」などの不満です。

今まで不適切に購入していた患者さん側にも、売ってしまう薬局・薬剤師側にも問題がありました。新しい大統領になってから Manila 周辺においては良い意味での規制が強くなってきている印象です。薬剤耐性問題や副作用問題が少しでも少なくなっただけでほしいものです。

当地では抗生剤に限らず生活習慣病に対する薬剤さえも処方箋が無くても頻りに売買されています。ワーファリン・抗血栓薬や抗不整脈・降圧剤・抗糖尿病薬など内服量や種類によっては生命にかかわる病態変化を引き起こす危険な薬でさえも不適正に売買されています。当然患者さんは病院や診療所を受診しません。必要時の検査も受けません。現在の病態は数か月前・数年前とは異なっています。不適切な薬剤使用による副作用や基礎病態悪化など、命に関わる取り返しのつかない病状変化につながる可能性もあります。患者さん自身の健康を守るため、薬剤耐性問題や犯罪との関連を引き起こさないためにも責任のある行動をとっていただくことを希望します。